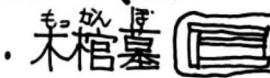
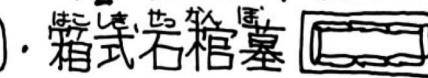


<日本史探究⑩> 弥生時代④ 教科書: P.15~P.17

7 弥生時代の墓制

- ① 集落近くの共同墓地 ← (27) [←死者の両脚を伸ばして葬る]
→ 土坑墓  · 木棺墓  · 箱式石棺墓  などが営まれた。
- ② 地域による特徴
九州北部: 土器でつくられた (28)
東日本: 再葬墓 [死者の骨を土器につめる]) の上に (29)
朝鮮半島の影響 ↑
- ③ 盛土を持つ墓の出現
近畿地方から全国各地: (30)
後期 → 大型の (31)) [←盛り土や周辺を削って一部を高くした墓]
(32.) 県 (33.)
山陰地方から富山県 (34.) ↓
(35.)) ことを示している!



- (1) 弥生時代、九州北部で見られる、大型の土器に死者を納める墓は? ()
 (2) 地上に大きな平石をのせる九州北部の墓は? () ()
 (3) 弥生前期に近畿に出現した方形の低い墳丘の周りに溝をめぐらせた墓は? ()
 (4) 弥生後期、岡山県で見られた大型の墳丘墓は? ()

8 弥生時代の遺跡(稻作関連)

- ① (36.) 遺跡: 青森県弘前市で発見された弥生時代前期の水田跡。
 (37.) 遺跡: 青森県南津軽地方で発見された弥生時代中期の水田跡。
 (38.) 遺跡: (39.) 県の遺跡。弥生時代後期の水田跡や高床倉庫。
 (40.) 遺跡: (41.) がすでに行われていたことがわかった岡山市の遺跡。

- (1) 1943年、静岡県で発見された弥生時代後期の遺跡は? () 遺跡
 (2) 弥生時代、田植えは行われてなかった、○か×か? ()